

# ふしおっこ日記

令和8年1月16日

## 図画工作科の学習



後期後半になると、図画工作科で版画の作品づくりに取り組む様子が見られます。今日も複数学年で見られましたので紹介します。

1年生は、スタンプを楽しむ姿が見られました。瓶のふた、スポンジ、サツマイモやレンコン等を手に持ち、インクを付けて画用紙に押していました。自分の手を使って、模様を描く児童もいました。



3年生は、スチレン版画に取り組んでいました。スチレンボードは、鉛筆等で簡単に凹ませて版をつくることができます。また、簡単に切ることもできますので、つくった版を切り取って、図の構成を考えることも楽しそうでした。



4年生は、構図を考える学習でした。テーマは「宇宙で発見！新種の生き物」で、「まるで生きているよう？！動きがある構図で活躍する姿を描こう」をめあてに、熱心に活動に取り組む様子が見られました。新種の生き物を考え出すヒントとして、「生き物と○○をミックスさせて、形や模様のアイディアをたくさん見つけよう」というプリントが準備されていました。「猫とロケット」「シマエナガとブルーベリー」「クラゲとレモン」等、「それは、いない！」と思える新種がたくさん生み出されていました。版画での仕上がりも楽しみです

